

平成 28 年度 宮沢賢治生誕 120 年記念 4 館共同制作 小池博史ブリッジプロジェクト
「風の又三郎 2016-ODYSSEY OF WIND-」 & 地域創作プログラム [KENJI]
共同制作によせて

東北を代表する作家・宮沢賢治の生誕 120 年を迎える今年
地域が“風”で繋がり、文化をつくる

2016 年の 4 月から 11 月にかけて、4 都市（宮城県仙台市、長野県長野市、茅野市、東京都多摩市）の文化施設 4 館が“宮沢賢治”をテーマとした市民創作プログラム、および「風の又三郎」の舞台作品の創作・上演に、世界で活躍する舞台演出家・小池博史らとともに臨みます。

この取り組みは、宮沢賢治の遺した芸術・思想を基軸に、鑑賞だけでなく創造体験を通し、舞台芸術およびそれぞれの地域のもつ文化のありように対する市民理解の深まりとともに、私たちの現在と未来を捉え直そうと企図しました。

東日本大震災から 5 年がたった。そして今、九州が揺れている。
あの日、私はどこにいたろう。そして今から 5 年後、私はどこにいるのだろう。

自然の前では、人はあまりにも小さな存在です。しかし、そこにいる人々が主体者であることを自ら再発見することで、地域の文化や芸術は興り、未来は創られます。

その主体的なからだを記憶を取り戻すべく舞台芸術活動を展開する小池博史ブリッジプロジェクトと共に、仙台市・長野市・茅野市・多摩市の 4 館は本事業に臨み、各館が舞台芸術のもつ可能性を地域から発信する拠点となることを共に目指していきます。

“……われらに要るものは銀河を包む透明な意志 巨きな力と熱である……”
(宮沢賢治「農民芸術概論綱要」より)

公益財団法人仙台市市民文化事業団（日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)）
公益財団法人多摩市文化振興財団（パルテノン多摩）
一般財団法人長野市文化芸術振興財団（長野市芸術館）
株式会社地域文化創造（茅野市民館）
小池博史ブリッジプロジェクト